

- 村健康づくり大会から……………2～4
- 各種スポーツ大会から……………5
- 平成4年度村の予算……………6～8
- 東郡田親クラブ研修会から……………9
- シニア洋上セミナーに参加して……………10
- 婦人の生涯教育講座から/川柳北緯41°……………11
- 保健コーナー……………12
- 村教育功労表彰式/紹介します新しい職員……………13
- 第6分団コミュニティ消防センター完成/……………14
- 談話室/行事予定……………15
- けっばる蓬田人/戸籍の窓口……………16

広報

よきき大



そなえあれば“うれしい”家庭看護

4月
1992

どうして、中央の話題になつたかは知らないが、今、こんなロマンチックな津軽の物語がマスコミでとりあげられることは、まず、ない。さて、どうでしょうか。

「雁風呂」の話。春の季語にもなっている。季語になるくらいだから、江戸時代には、それこそ上方のほうで、この地のことが相当な話題になっていたものと思われる。

昔、雁は秋に小さな木をくわえながら外ヶ浜へ渡ってきたという。疲れると海に浮かべて羽を休め、渡り終えたと浜辺に落として、春には再びくわえて帰るといふ言い伝えがあったそうだ。だから、春になっても残っている木は、雁が死んだからだろうと哀れに思い、それで風呂をたいて供養したそう。

老いながら
椿となって踊りけり
鷹女

●テーマ「肺がんを予防するために…今、家庭で取り組めること、地域全体で取り組めることは何か?」

短命村返上をめざして

◆タバコを吸うことは、自分だけでなく、周囲の人まで肺がんにする。

村では、国保医療費や老人医療費の増大に伴い国保財政が苦しい状態です。

このため、村民の生涯にわたる健康づくりを目指すために暮らしの基本に健康をかかげ、健康に対する村民の関心を高めながら地域の健康問題について行政と村民が共に意見を出し合いその対策づくりを進めていきたいという主旨のもと、二月二十五日(火)村玉松公民館において、関係者百五十名の方々の参加を得て、『短命村返上をめざして』平成三年度村健康づくり大会が開催され、熱心に話し合いが行われました。

村健康づくり大会開催される

大会は、午前九時四十五分から坂本昭巳助役の開式のことばで始まり、八戸良次郎村長より「この大会も年々成果が上がって来ています。村での最近の各種検診の受診率が低いので、家族、友人、知人、隣近所を誘いあい受診率の向上にご協力をお願いしたい。健康は何よりの宝であります。健康増進対策・福祉対策にこれからも努力したい」とあいさつ、来賓を代表して坂本重彦村議会副議長より「健康は何よりもまさる財産だと思えます。健康な時はいくらも健康を忘れて、働き過ぎ、運動不足、食べ過ぎ、飲み過ぎ、寝不足がたたり体調を崩して、

●発表

「村の保健婦活動から」





主任保健婦
細谷 昭子

死因からみた問題
①がんによる死亡が、全死亡の三〇・六％で第一位です。その中で最も多いのは、胃がんが十四人で、日本人が塩分

を多く摂取するので胃がんが多いのではないかと言われています。肺がんが十三人で、胃がんを上回る勢いで増えて来ています。いずれも圧倒的に男性が多いようです。
●②③は日常生活を改善すると予防ができます。
②脳血管疾患による死亡が、第二位です。

出血によるものより多いようです。
③心疾患による死亡が、第三位です。
死亡の時の年齢も、比較的若い世代が多いようです。
※平均死亡年齢は、男性六十九・四八歳、女性七十五・八七歳です。
◎タバコを吸う人は肺がん検査を受けましょう！

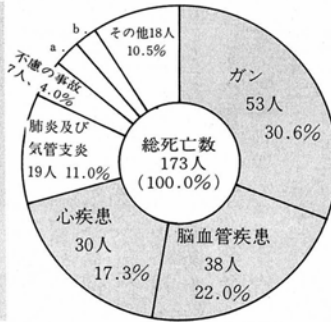


青森保健所保健婦
大 鰐 恭子

①蓬田村は、三厩村や平館村と比較すると村としては受診率が低いようです。
②年齢的には、四十歳代が多く、五十歳代から六十歳代の受診が少なくなっています。
③五十代から肺がんにかかり

「青森保健所管内の肺がん検査の状況について」

●発表



一日にタバコを吸う本数×吸っている年数が六百（喫煙指数）を超える人は、肺がん検査を受けるとともに痰検査の対象者になります。
【過去五年間の死因（昭和六十二年～平成三年）】



保健協力員
八 戸 久 子

①検査を進める立場の保健協力員として人間ドックに入ったら、今まで色々な検査で見つからなかった胆石が見つかりました。
②どうせがん検査するのなら例えば、エコー検査（超音波診断装置）を住民検査や、がん検査に取り入れれば色々な病気の早期発見につながると思

「住民検査の普及に取り組んでみて」

●発表

区分	63年度	元年度	2年度	3年度
青森県	12.6	10.4	14.1	17.7
青森市	-	-	2.0	1.6
平内町	25.7	32.3	34.8	28.9
蟹田町	41.9	41.8	46.3	43.6
今別町	-	-	43.6	38.1
蓬田村	-	38.3	33.1	37.1
平館村	-	62.7	69.2	48.4
三厩村	65.2	68.6	68.9	56.0

管内平均36.2 ※3年度は、11月30日現在

やすいので、かならず検査を受けてほしい。



います。

③男性の方々は、家族に対する思いやりと、自分の肺がん予防のためにもタバコと健康のことを考えてほしい。

④自分のため、家族のためにも進んで検診を受けて、安心して毎日働けるようにしてほしい。

会場を移動して「肺がんを予防するために：今、家庭で取り組めること、地域全体で取り組めることは何か」のテーマで五グループに別れて討議が行われました。

○第一グループ発表

●止められない人の意見
①たばこを止めたら生きがいなくなる。②たばこは精神

安定剤。

●止めてほしい人の意見
①命にかかわる病気をしないと止めるきっかけが出来ない。②友達同士で少しずつ減らすよう励ましあう。

○第二グループ発表

●止められない人の意見
①仕事が終わった後の一服はうまい。②家族に何を言われても止められない。

●止めてほしい人の意見
①家の中に灰皿を置かない。②他家に行ったらたばこ吸ってもいいですかと聞く運動。

○第三グループ発表

●止めた人の意見①止めたなら食事がおいしい。②体調が悪くなつてから止めた。

●止めてほしい人の意見
①バランスのとれた食事で対応する。②たばこの害を勉強してもらおう。

○第四グループ発表

●止めてほしい人の意見
①若い父親は子供のために本数が減っている。②検診を受ける勇氣を持つとう。

○第五グループ発表

●止めてほしい人の意見
①家庭では煙の出ない灰皿を

使う。②喫煙の低年齢化に対応して、学童期からの保健指導をしていく必要がある。

引き続き、森繁春村健康づくり推進協議会長より、来年度の活動へ向けての健康づくり重点目標として、「①家族ぐるみ、地域ぐるみで、すすんで健診を受けよう②生活習慣の見直しで、成人病を予防しよう③健やかに長生きし、助け合って生きがいのある地域づくり」の目標を発表しました。

また、グループ討議終了後には、村食生活改善推進員による「私(わ)、どっこも悪くない」という健康劇が行われ会場の参加者に健康診断を受けようというアピールしました。



●講演



成田昌弘青森保健所長より、「肺がんとその予防生活について」と題して講演、①十五歳二十歳の若い時からたばこを吸い始めた人が一番肺がんになる可能性が高いと統計的に出ています。②禁煙に何回失敗しても挑戦することが大切。

③バランスのとれた食生活をするのが大切。④運動をいれる。⑤一日何回か家の空気を入れかえる。⑥がんになるといくら栄養のある物を食べても体のためになりません。⑦がんになつても五十%位は治せるので一年に一回は検診を受けよう。

引き続き、成田青森保健所長より講評として「方向としては禁煙するためには、気分

転換をする。タバコに変わるものを探す。禁煙を何回失敗しても何度も挑戦して行く」等の禁煙をするためのアドバイスがあり、参加者全員で「タバコを吸うことは、自分だけでなく他人まで肺がんするんだ」ということを確認して大会を閉じました。

世界保健デー 4月7日

ハートビート——それはあなたの健康リズム "Heartbeat——The Rhythm of Health"



第一回村民スキー大会開催される

村体育協会スキー部主催

三月六日(金)村営スキー場において、村民のスキー人口の拡大と技術向上を目的に村体育協会スキー部(山館建部長)主催の第一回村民スキー大会に選手、関係者約五十名が参加し、選手は日頃の練習成果を十分発揮した滑りを見せた大会となりました。

大会は午後六時三十分から始まり、小学生低学年の部からスタートして中学生の部までの参加者で競技が行われました。競技は、二人が同時にスタートして、二回の合計タイムで競技を競うデュアルレースで行なわれました。午後八時過ぎには全員ケガなく大会を閉じました。入賞者は次の通りです。

- 小学生【低学年男子の部】
 - ▼一位 工藤幸樹(長科)
 - ▼二位 山館雅弘(瀬辺地)
 - ▼三位 福浦祐介(広瀬)
 - ▼四位 川崎秀晴(広瀬)
- 小学生【高学年男子の部】
 - ▼一位 坂本恭一(長科)
 - ▼二位 越田正也(瀬辺地)
 - ▼三位 古川 誠(長科)
 - ▼四位 越田和人(瀬辺地)
 - ▼五位 山館佑輔(瀬辺地)
 - ▼六位 木村敬親(広瀬)
- 中学生【男子の部】
 - ▼一位 中村孝太(蓬田)
 - ▼二位 福浦健太(広瀬)
 - ▼三位 木村 諭(広瀬)

- カブ女子個人の部
 - ▼一位 福浦 望(三年)
- カブ男子個人の部
 - ▼一位 大宮 俊彦(二年)
 - ▼二位 大宮 裕之(四年)
 - ▼三位 小野 真一(四年)
 - ▼四位 越田 紀昭(四年)
- 準優勝(男子)
 - ▼三位(女子)
- バンビ男子個人の部
 - ▼一位 大宮 俊彦(二年)

続々の入賞を果す!

東津軽郡小学生卓球大会



- カブ男子個人の部
 - ▼二位 森 倫子(三年)
 - ▼三位 木村美穂子(三年)

一級合格おめでとう!

全日本スキー連盟公認のスキーバッチテストが、二月二十三日(日)青森市八甲田スキー場において行われ、わが村からも三名の方が受験して見事合格しました。合格者は次の通りです。

- ▼一級Ⅱ 工藤光雄(長科) 阿保博幸(広瀬) 藤本淳(長科)

保険で安心 明るくスポーツ

900万人の保険 スポーツ安全保険

- いつでも、だれでも、5人以上のグループで加入できます。
- 掛金(年額)子ども・文化活動360円、大人1,100円(老人クラブ団体500円)

傷 害 保 険	死亡・後遺障害	最高1,400万円(老人400万円)	賠償責任保険 支払限度額	対人 1億円 対物500万円	共 済 見舞金	100万円
	入院(1日あたり) 通院(1日あたり)	4,000円(老人1,800円) 1,300円(老人800円)				

- 対象となる事故 ●団体の管理下の活動中の事故 ●通常の経路往復中の事故

お問い合わせは (財)スポーツ安全協会 ※詳しくは、社会教育課へお問い合わせ下さい。

●平成四年度村の予算

三十一億八千七百万円でスタート!

前年度当初予算と比較して三十一・三%の増

当初予算編成にあたって

村長 八戸 良次郎

豊かな活力のある村づくりを目指して議会、関係機関共々行政を進めて参りましたが、今年には特に蓬田村の前進の年にしたいと、私は年頭に当たり職員一同に申し上げております。

近年社会経済の著しい進展や、国民生活の多様化のなかで、行政に対する要望が沢山出てきている事は誠に喜ばしい限りであります。また、国・県財政の影響を受け、当村の財政堅調を帯てきた所でありませんが、わずか二年にして国の経済変動、バブル経済の影響をも受け、地方交付税の伸び悩み、台風十九号の被害、

ついでに。

各課の主要な事業について概要を申し上げますと、一部事務改善を行う為、係の統廃合等を実施し、よりよい住民対応ができるように致しました。

事業としては、広瀬消防団に自動車ポンプ購入、スクーターバスの購入、漁港改良、農免農道、一般農道の整備、河川改修、除雪ドーザーの購入、温泉よもぎたの湯は関連事業を含めて四億円の経費を投入して、村民老若男女を問わずの健康増進対策を進めて参ります。

スポーツ振興も体力づくりの基本ですから玉松スポーツセンターも、野球場、ゲートボール場、テニスコートを主体に完成予定であります。まだまだ住民皆さんの要望

にこたえなければならぬものがありますが、限られた財政の中で計画的に順次手がけてゆく事に致したいと存じます。

上下水道は夫々十三億円以上を要するようであるが、環境整備は若者の定着、嫁不足の解消にもつらなる事も忘れておりません。何事も申し上げている通り、村の特色を生かした蓬田村らしい行政を進めてゆかなければなりません。

教育の向上は人間生活を主体に頑張らなければなりません。福祉対策も、高齢化対応を主体に予算化も考えました。

いづれにいたしましても国民の税金、村民の税金ですから無駄のないように心して予算の執行を行います。

住民の皆さんも、色々な御意見、御指導、御協力を賜るよう心からお願いを申し上げます。

村民の御多幸を念じ当初予算編成の主旨説明と致します。



● 入るお金 2,287,821,000円

地方交付税	国庫支出金	県支出金	村債	その他	村税	繰入金
1,150,000千円	77,059千円	100,351千円	453,300千円	114,555千円	163,256千円	229,300千円
50.3%	3.4%	4.4%	19.8%	5.0%	7.1%	10.0%
依存財源				自主財源		
1,846,122千円 80.7%				441,699千円 19.3%		

● 出るお金 2,287,821,000円

議会費 63,301千円 (2.8%)

- ・議員報酬……………34,132千円
- ・議員活動費…………… 7,280千円

総務費 572,221千円 (25.0%)

- ・交通安全対策費…………… 3,165千円
- ・スクールバス購入費……………12,978千円
- ・玉松台スポーツガーデン整備費…………… 112,024千円
- ・玉松園カントリーパーク整備事業費……………56,000千円
- ・参議院議員選挙費…………… 1,660千円



民生費 197,745千円 (8.6%)

- ・老人福祉費……………31,258千円
- ・防犯対策費…………… 2,089千円
- ・児童手当…………… 8,208千円
- ・保育所費……………66,897千円
- ・児童館費……………14,983千円

衛生費 537,460千円 (23.5%)

- ・青森地域広域事務組合負担金…57,086千円
- ・母子衛生費…………… 1,898千円
- ・(仮称)蓬田村ふれあいセンター建設事業費…………… 424,652千円
- ・老人保健事業費……………17,565千円

労働費 572千円 (0.0%)

- ・蓬田村労働者協議会補助金… 135千円
- ・出稼援護関係費…………… 150千円

農林水産業費 246,486千円 (10.8%)

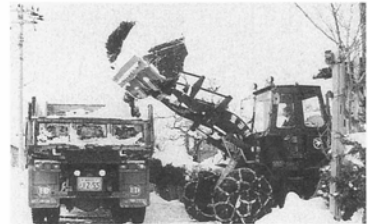
- ・農業委員会費……………22,075千円
- ・村営牧場関係費……………18,220千円
- ・阿弥陀川地区団体営農道整備事業費……………22,118千円
- ・田浦地区団体営かんがい排水整備事業費…………… 9,392千円
- ・蓬田地区農免農道側溝整備事業負担会……………42,511千円
- ・瀬辺地地区農免農道側溝整備事業費…………… 500千円
- ・森林総合整備事業費…………… 9,450千円
- ・水田農業確立対策費…………… 7,182千円
- ・地域農政推進対策費…………… 5,246千円
- ・いきいきむらづくり特別対策事業費…………… 4,700千円

商工費 7,172千円 (0.3%)

- ・蓬田村商工会補助金…………… 800千円
- ・村おこし事業補助金…………… 300千円
- ・観光協会補助金…………… 2,200千円
- ・海水浴場運営費…………… 918千円

土木費 147,696千円 (6.5%)

- ・阿弥陀川下線道路改良工事費… 21,000千円
- ・阿弥陀川3-20号線舗装工事費… 2,400千円
- ・広瀬3-3号線舗装工事費… 5,300千円
- ・除排雪経費……………32,435千円
- ・村道補修工事費…………… 6,000千円
- ・除雪ドーザー購入費……………17,459千円
- ・準用河川中沢川河川改修工事費9,939千円
- ・河川維持管理工事費…………… 3,000千円



- ・公営住宅外壁等修繕等工事費… 7,800千円
- ・県営蓬田漁港改修事業負担金……………10,000千円
- ・県営瀬辺地漁港局部改良負担金…………… 4,000千円

消防費 88,880千円 (3.9%)

- ・青森地域広域消防事務組合負担金…42,914千円
- ・防災コミュニティーセンター建設事業費…………… 7,590千円
- ・ポンプ自動車購入費……………13,905千円

教育費 206,594千円 (9.0%)

- ・幼稚園費……………18,839千円
- ・小学校費……………22,449千円
- ・中学校費……………24,346千円
- ・公民館費……………32,153千円
- ・スキー場運営費…………… 1,529千円
- ・給食センター繰出金……………29,705千円

災害復旧費 13,003千円 (0.6%)

- ・河川災害復旧費…………… 4,273千円

公債費 200,157千円 (8.7%)

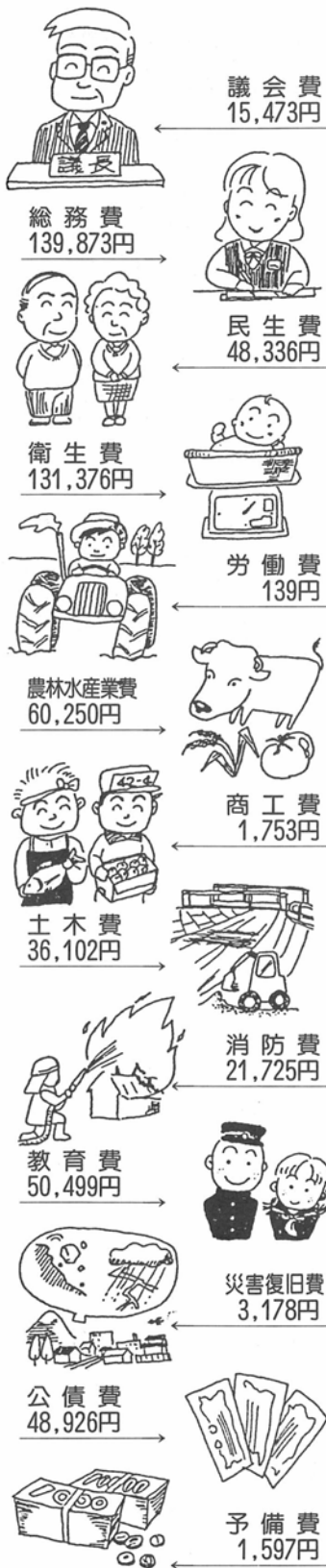
- ・元金…………… 107,931千円
- ・利子……………92,226千円

予備費 6,534千円 (0.3%)

特別会計の予算

● 一般会計

そんみんひとりあたり出るお金



※平成4年4月1日現在人口 (見込み) 4,091人

学校給食センター 特別会計

繰入金 29,705千円	給食負担金 18,372千円	繰越金 20千円
61.8%	38.2%	0.0%
歳入 48,097千円		
歳出 48,097千円		
総務費 29,715千円	給食費 18,382千円	
60.9%	39.1%	

国民健康保険 特別会計

国庫支出金 124,778千円	国民健康保険税 132,165千円	その他 40,872千円
41.9%	44.4%	13.7%
歳入 297,815千円		
歳出 297,815千円		
保険給付費 208,389千円	老人保健拠出金 63,547千円	その他 25,879千円
70.0%	21.3%	8.7%

老人保健 特別会計

支払基金交付金 262,762千円	国庫支出金 77,760千円	その他 40,218千円
69.0%	20.4%	10.6%
歳入 380,740千円		
歳出 380,740千円		
医療諸費 379,282千円		その他 1,458千円
99.6%		0.4%

子供達の健やかな成長を願い!

東郡母親クラブ合同研修会開催される

二月二十日(木)村玉松公民館において、村母親クラブ連絡協議会(坂本藤枝会長)主催の、東郡母親クラブ合同研修会が関係者併せて百名が参加して開催されました。

この研修会は、蓬田村、平内町、蟹田町の三町村が毎年会場持ち回りで開催しているものです。

午前十時三十分から始まった開会式では、坂本会長より「すでにご承知のとおり、平成四年度二学期から学校の週休二日制が試行されるなど、子供達を取り巻く環境は益々複雑、多様化し、大きく変化してきております。このような時こそ、子供達の健全な成長と発達を期するため、家庭

・学校はもとより地域社会全体の協調、協力が不可欠であり相互の連帯を強化することがなによりも大切なこととなります」とあいさつがありました。

来賓を代表して八戸良次郎村長より「子供は村の宝であるため、子供の健全育成のために今日一日勉強して、今後の活動に役立て下さい」と祝辞がありました。

引き続き、奈良尹村教育長が「この頃考えたこと」と題して講演し、①子育て論②性教育③叱られ上手④学校選択の四つの分野に分けユーモアたっぷりに講演してくれました。昼食後の、レクリエーションでは、坂本勝教村社会教育



課社教主事より、誰れでも出来る簡単なストレッチ体操や、ゲームの指導を受け、参加者は時間の経つのも忘れて楽しみました。

その後、東郡の六町村が制作した、「ふるさと道、今昔」のビデオを二十分鑑賞してわが村・わが町の良さを再確認しました。

最後に、各地域の活動報告をしてもらい実のある研修会を閉じました。

4月から国民年金の保険料が変わります。

一ヶ月九、七〇〇円です。

第一号被保険者と任意加入被保険者が納付する国民年金の保険料の額が、平成四年四月分から一ヶ月九、七〇〇円に変わります。

ただし、付加保険料の額はこれまでどおり四〇〇〇円のままです。

基礎年金の支払いに要する費用は、みなさんの負担する保険料、各被用者年金制度からの拠出金、国庫負担で賄われていますが、平均寿命の伸びとともに増えている年金受給者や物価スライドによる年

金額の引き上げにより、この費用が年々増加しているための措置です。

保険料は安く、年金額は多いにこしたことはありませんが、長期的に安定した年金制度とするために、給付と負担のバランスを図りながら、みなさんの負担が急に重くならないように段階的に引き上げられています。

ご理解をお願いします。

高齢福祉年金を受け取ったら、国民年金証書を出しましょう!

高齢福祉年金四月份分の支払いを受け取ったら役場年金係に、国民年金証書をかからず提出してください。

これは、物価上昇に伴い増額した、新年金額での四月份から七月份までの支払い金額を平成四年八月份支払い欄に記入するためです。

証書の提出を忘れてしまうと八月份支払い分の受け取りが遅れることがあります。

また、他の公的年金を受けている人は、その年金額改定通知書も必要ですから忘れずに添付してください。

あおもりシニア洋上セミナーに参加して

山館誠弘（瀬辺地）



日、小春日和のような天候に恵まれ、出航時にはドラの鐘がうたれ、見送りの方々が手を振っている姿を見て一同感激した。

明るく活力ある長寿社会をめざして、昨年七月一日に財団法人青森県長寿社会振興財団が発足された。

その主な事業は・青森県長寿福祉祭・全国健康福祉祭・あおもりシニア洋上セミナー・長寿財団設立記念講演会・高齢者相談センターの運営などがあり、行政当局の計らいでシニア洋上セミナーに参加することができた。

十一月三日、台風二十三号の影響で、つぼん丸は、青森への入港が急拠八戸港に変更されたのでアスパムでの出発式を終えバスで八戸港へ向かい五時に乗船、五時半の出航となった。

日が暮れた秋晴れの文化の

高齢者の社会参加をすすめてくれたこのセミナーのメインイベントは知らない者同士が知り合い県民として交流し合うことの重要性を再認識した。

参加団員二百九十九名と県側財団等約五十名が参集してのオリエンテーション、団長（県知事）挨拶、交歓交流会。夕食は、フランス料理で懇談会が催され船もゆれずあたたかい交流の輪も広がった。たくさんの方の縁の下で力持ちに支えられた晩餐会でした。

今回参加した最年長者は男性が九十歳、女性は八十五歳です。主催者の気配りは大変だったようです。

十一月四日、洋上第二日目船上甲板で太平洋から昇る太陽をみる。西側の陸上の方を見ると福島県の原子力発電



二月九日大黒様の好きな料理の名前。歴史的な事柄をこれからも生涯学習として勉強するべきであると感じた。

午後ふれあいタイムの徹底討議で、テーマは「私の家庭づくり」です。

まとめとしては、老人といえども家族の一員であり、毅然とした態度で人生をのりきり、ボランティア精神で社会参加。会合に出席して意見発表する。提言を行い大会等で発表を行なう、研磨をつみ今後の家庭づくり而努力する。

生きがいタイムでは歌唱講座で全員で赤トンボ、青い山脈、リンゴの歌を合唱、芸達者のアトラクションでした。

十一月五日、第三日目、甲板より浦賀水道の標識、ブイ東京湾をながめながら、東京湾は船の洪水であると思う。

洋上最後の朝食後、東京港晴海埠頭に、つぼん丸よりはるかに大きい豪華客船飛鳥（あすか）号と南極観測船しらせの間に着岸し下船、団長の知事がタラップの下で団員との別れの挨拶、早々握手して知事との記念撮影一枚。

それぞれ定められたバスに分乗して宇都宮へ、昼食、日光江戸村施設見学。鬼怒川温泉に着いた。

・青森市小牧野丘陵からの古代遺跡・南部の殿様の出身地・県の国宝指定の文化財・南部の殿様の家族・津軽の殿様の家族・十和田市稲生川の名づけ親は誰か・明治四年青森県の開庁式が行われた当時の県の人口・お盆の牛馬に見立てた野菜の名前・旧暦の十

十一月六日第四日目、日光東照宮施設見学、徳川家康の祀神宮である。

新幹線やまびこ四十三号便乗、はつかり十五号で一路青森へ、ホームにて解散式、三泊四日の旅を終えた。

感想として団長である知事の県内各地から集まったシニアが語り合えて良かったとの声を聞き私も今後毎年続けてほしいと思っている一人です。

大会では若者をしのぐパワーを発揮。体験発表を通じて南部と津軽が交流し、「あおもりシニア洋上セミナー」に参加できた事に感謝し、今後わが村からもっともっと参加されることを希望しリポートにかえます。



アメリカ

米国流のデザートケーキは

甘くて美味しい!

婦人の生涯学習講座

三月八日(日)村中央公民館において、婦人の生涯学習講座(石山慶子委員長)が米国ミズリー州出身のハイネ・ポール(二十六歳)氏を講師に招いて婦人約三十名が参加して米国のケーキ作りを学びました。

ポール氏は、青森県庁に勤務、国際交流のために県内で英会話の講師として活躍しています。

石山委員長より「外国人の講師を招待する機会はなかなかないので、菓子作りだけでなく生活習慣などどんなことでも話し合いをすすめてほしい」とあいさつのあと、米国の朝食や昼食などの食生活習慣などについて説明があり、

デザートケーキのバナナケーキとアップルケーキの二種類を実際に材料を調合し婦人へ手ほどき、外国人男性の器用さを披露しました。

ケーキが焼き上がるまでの間、ポール先生が作ってきたケーキを試食しながら、健康と食問題や日米婦人の地位、子ども教育の違いなどについて各グループごとに色々な話題で参加者と楽しく交流を図りました。

また、昼食は婦人が手づくりの三平汁とイカの飯寿司、漬物の田舎料理でもてなして日本の食生活を話題にポール先生を囲んで楽しく会食して、異文化の学習をして講座を閉じました。



人事異動 (四月一日付)

戸籍事務を総務課から民生課に、国民健康保険税を民生課から税務課に、労働事務を農林水産課から民生課に、漁港事務を建設課から農林水産課とする機構改革を実施、また今年度開設の「ふれあいセンター」のための人事異動の内示をした。

- ▼農林水産課長(税務課長) 中村幸八▼税務課長(農林水産課長) 田中武▼ふれあいセンター開設準備室長(民生課長補佐) 山館建▼農林水産課長補佐(税務課長補佐) 坂本万蔵▼民生課長補佐(農林水産課長補佐) 久慈義明▼税務課長補佐(税務課税務評価係長) 坂本大▼民生課主幹兼戸籍係長(総務課主幹兼戸籍係長) 佐藤洋子▼学務課主幹(民生課児童厚生員) 坂本キヨノ▼出納室主査(学務課主査) 算用子秀子▼社会教育課主査(民生課主査) 越田茂弘▼総務課主査(社会教育課社会教育主事) 坂本勝教▼農林

- 水産課主査(建設課主査) 山館輝久▼税務課主査(総務課主査) 木村先雄▼企画課主査(出納室主査) 大川誠治▼総務課主事(建設課主事) 中川悟▼民生課主事(総務課主事補) 田中光明▼総務課用務員(中学校用務員) 坂本ミヤ▼学校給食センター調理員(農業者トレーニングセンター用務員) 工藤義正▼中学校用務員(学校給食センター調理員) 坂本露子

- ◆新採用 ●建設課主事補 稲葉正明

4月の土曜閉庁日は 11日と25日です。

ただし中央公民館、幼稚園、保育所、児童館はこれまでどおりです。

- ・ 一生に
- ・ スポーツマン
- ・ 額ぶちが
- ・ 亡き母の
- ・ 一度は入る
- ・ 賞状だけで
- ・ 良くて中身が
- ・ 遺影に手を合わす五十年
- ・ 黒い額
- ・ 額がない
- ・ うすくなる

- 清昭
- 光子
- 増吉
- 勝子

- ・ 額光り
- ・ 額の文字
- ・ 額割った
- ・ 仏前の

- ・ 中身今いち
- ・ 寿と書き
- ・ 孫の顔見て
- ・ 写真年毎
- ・ ぼけている
- ・ くれてやり
- ・ 夢納め
- ・ 若く居る

- 重彦
- 勇三
- 年栄
- ちえ子

日頃に春らしい陽気になって来ました。今年こそは農家も漁家にとって豊作・豊漁の年であってほしいものです。

●オシッコが出にくい？

50才以上の

男性のための前立腺肥大症について

「保健婦さん、ちょっとしやべりにくい話だばって、この頃ずんぶオシッコの出が悪くなって、若い頃みたいに勢よく出なくなってしまうって、年だべがー。」と、先月言いつらそうにしている七十才のAさんから相談を受け、泌尿器科の受診をすすめた結果は前立腺肥大症。今月は、男性の加齢とともにおきてくる前立腺肥大症について考えてみたいと思います。

▼前立腺肥大症って何だ？

前立腺は男性だけにあつて膀胱の出口のところについていて、形と大きさは中位の大きさの丹波栗に似た、かなり固い構造をしたものです(図1)。この前立腺が、加齢とともに大きくなり、尿の通り道を圧迫してオシッコが出にくくなる、これが前立腺肥大症で、ガンとはちがいたちのいいものです(図2)。五十才をすぎて、次にあげる症状があてはまるようであれば、一応この病気を考えてみるのもいいでしょう。

▼どんな症状が出る？

①初期は、膀胱不快感や頻尿(特に夜間強くなる)の他にオシッコが出るまでに時間がかかったり、オシッコが終るまでに時間がかかる、又、オシッコの線が細くなったり若い頃のように勢よく出ないなどで、②次に少し症状が進むと、排尿障害が強くなり残尿(オシッコが終っても膀胱の中に残っている)や血尿となったり、急性尿閉(オシッコがしたくいくら頑張っても全く出ない)となる

場合もあります。したくても出ないので本人はとても苦しい思いをします。この尿閉は、飲酒後や寒冷長時間排尿をしなかった時、長期就床時などに前立腺が充血したりうっ血したりするためおこります。③さらにこのような症状を数年くりかえしている、残尿は増大して200ml以上となり、膀胱は持続的に拡張して、収縮により排尿することが不可能となり、尿が絶えず少量流れ出て(尿失禁)、下着がぬれたりするようになります。こうなつて初めて受診する人もいるようですが、変だなど思つたら早めに受診しましょう。

尿閉になつてからあわてて受診しようとしても診察時間外ですとことわられることがありますので、その時は近くの診療所や病院で、オシッコの管を入れて一次的にオシッコを出してもらい、受診するようにしましょう。

▼診断・治療について

診断に直腸内触診で行います。治療は、病気の程度によつて最も良い方法を決めます。一般的に、残尿が100ml以下で腎機能が正常のものは飲み薬と注射(オシッコを出やすく

しトイレが近いのをなおし、ききめが持続する効果あり)で、又、急性尿閉・血尿・残尿が高度な排尿困難の著しい人は手術の適応となります。前立腺の手術は、最近お腹を切つて摘出する方法は非常に減少し、尿道から内視鏡的に前立腺組織をけずり取る方法で行われるようになってきました。

▼日常生活で気をつけること

前立腺肥大症といわれた方は、次のことに注意しましょう。①適度な運動と規則正しい生活②飲酒は控える③腰を冷さず毎日入浴④長時間座らない⑤便秘をしない⑥水分をたくさんとること。とかくオシッコにまつわる病気が言いにくいものですから受診が遅くなりがちです。高齢者を抱える家族は、老人の健康のパロメーターの一つとして、時折排尿の状況をチェックしてほしいと思います。

正常な前立腺

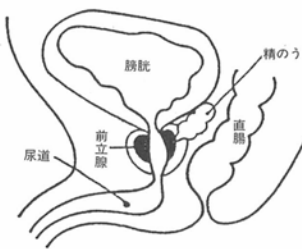


図1

前立腺肥大症

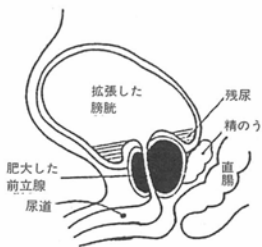


図2

前立腺は男だけあつて、膀胱の出口のところにあります。

これが年と共に大きくなり、尿の通り道を圧迫して、オシッコが出にくくなります。これが「前立腺肥大症」です。

団体6・個人3名に 功労表彰!

平成3年度教育功労表彰式



三月十九日(木) 村中央公民館において、平成三年度村教育功労表彰式が開催されました。

この表彰式は、毎年、子ども会育成者・青年会・婦人会・PTA・スポーツ・社会福祉等に功績のあった方を対象にして行われているもので、今年も団体六、個人三名の方々が受賞されました。

最初に、奈良尹教育長から「故奥瀬馨さんには学校歯科医として長年の間貢献していただき心より感謝します。また、スポーツ競技で入賞した方、自分の趣味を生かして活動してこられた方の功績を称えます」と挨拶がありました。来賓として出席した八戸良

次郎村長、清水信造村議会議長より「それぞれの分野で表彰された方に心よりお祝い申し上げます。これからも、わが村の教育発展のためにご協力をお願いしたい」と祝辞をいただきました。

表彰された方は次の通りです。

●特別功労者

▼故奥瀬馨「学校歯科医」

●団体「スポーツ」

- ▼大宮正志(郷沢) ▼中川昭仁(郷沢) ▼木村伸一(阿弥陀川) ▼青木弘美(阿弥陀川) (県民体育大会卓球競技第三位) ▼倉谷恵美子(宮本)
- ▼古川恵美子(阿弥陀川) ▼森三奈子(阿弥陀川) ▼小松美由紀(蓬田) (県民体育大会女子

陸上競技第二位

●団体

- ▼蓬田村連合婦人会(青少年・福祉・文化活動・減塩運動等)
- ▼傘松川柳同好会(村民祭の参加・百句集の発刊)
- ▼蓬田村連合PTA(児童生徒育成・学校教育振興・研修会の開催)
- ▼蓬田小学校父母と教師の会(地域懇談会・か

わら版発行・奉仕活動

●個人「スポーツ」

- ▼久慈修一(広瀬) (県民体育大会砲丸投競技第三位)
 - 個人
 - ▼藤田貞四郎(中沢) (松楓会の役員として十六年)
- おめでとうございます。(敬称略)

紹介します 新しい職員



民生課 課長 木戸 蓬田村大字瀬辺地

その度に事細かに親切に教えてくれる先輩にも恵まれ大変充実した毎日を過ごしております。

新年と同時に役場に勤め始めて、早二ヶ月が過ぎました。除々に役場の雰囲気にも慣れ始め職員の名前と顔が一致するようになってきました。

蓬田村に生まれ育って二十一年が経ち、いざ自分が蓬田村の職員になってみると、いかに蓬田村のことをよく知っていないかということに改めて思いしらされたような気がしました。

現在、民生課で仕事をしていますが今迄、福祉関係の仕事に就いていたということが、全く違う分野ではない気がして大変嬉しく思っております。しかし、仕事の内容が以前とは全々違った角度から見たものである為、一つ一つが新鮮なものの、また一方では、とまどいの毎日が続いています。

これからもきっと私の知らない分野の仕事がたくさん出てくるでしょう。そのつど自分でも一生懸命勉強していきたい、住民の皆さんにご迷惑のかわらぬよう努力し、また地域の皆さんと一体となって頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。

落成式 祝賀会

コミュニティ消防センター

村消防団第6分団

三月十五日(日) 村消防団第六分団(瀬辺地)のコミュニティ消防センターの落成式が、第六分団の同センター内において、祝賀会が瀬辺地民生会館において、来賓、消防関係者九十名が出席して挙行されました。



午前十一時からコミュニティ消防センターで行われた落成式では、広田神社(青森市)の神主による神事の後、関係者による玉串と続き、式を閉じました。

引き続き、会場を瀬辺地民生会館に移して行われた祝賀会では、八戸良次郎村長より越田正和建築代表へ感謝状の贈呈、八戸村長と、山館誠弘瀬辺地部落長より「新しい消防施設を利用して、これから地域住民を災害から守る充

つみ、会場を瀬辺地民生会館に移して行われた祝賀会では、八戸良次郎村長より越田正和建築代表へ感謝状の贈呈、八戸村長と、山館誠弘瀬辺地部落長より「新しい消防施設を利用して、これから地域住民を災害から守る充



つみ、会場を瀬辺地民生会館に移して行われた祝賀会では、八戸良次郎村長より越田正和建築代表へ感謝状の贈呈、八戸村長と、山館誠弘瀬辺地部落長より「新しい消防施設を利用して、これから地域住民を災害から守る充

四年間ご苦勞様でした!

県派遣社会教育主事

坂本 作先生を送る会

三月二十一日(土) 村農業者トレーニングセンターにおいて、坂本先生を送る会。奈良実行委員長)主催の送別会が関係者約八十名が参列して盛大に行われました。

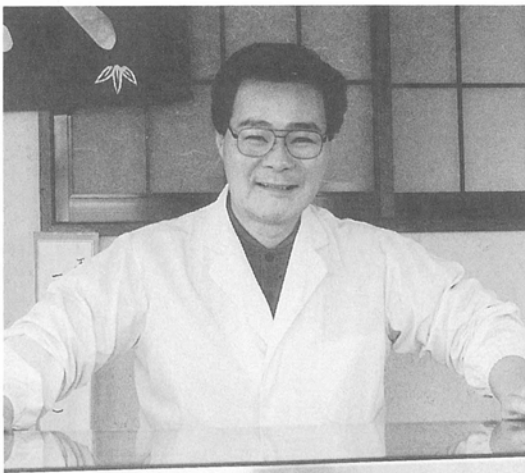
午後四時から始まった会では、奈良実行委員長より「坂本作先生には村の社会教育にご尽力をいただき、心からお礼を申し上げます。これから他の職場でも健康に留意して頑張ってください」とあいさつがありました。

来賓を代表して、八戸良次郎村長と清水信造村議会議長より「坂本先生は、人と人とのふれあいを大切にされた立派な指導をしてくださいました。新天地でも村を忘れることなく頑張ってください」と祝辞をいただきました。

引き続き、奈良実行委員長から記念品の贈呈、教育委員会職員算用子さんより花束のプレゼントがありました。

また、坂本先生より「蓬田村へ通うことが決まった時、車の免許証は持っていたが、





No.50 **がんばる**
伊豫部良次さん 瀬辺地

餅、茶きな粉をまぶし、一個一個ていねいに作り上げ、三色の彩りを考えて串に通し、一本づつを包装した気品のある和菓子の一品です。
「材料の牛皮餅は添加物を使わずじっくり練り込んであるので、口にとろけるような三味は格別ですよ」とPR。
全工程が手作りのため一日百本作るのが限界と話してくれました。
創業は昭和五十三年で再オープンしてからは、多彩に季節感を味わえる菓子づくりに励んで、やはり女性客にはとても人気があります。
姉妹品の玉松饅頭も、笹の粉末とオレンジピールの二種類があり、お土産に喜ばれているそうです。また、夕方になると特製おやきを買いたい求めている子供達で一杯となり、お店が賑わい初めます。
先日、東奥日報社の味じまん品くらべのコーナーに掲載された日以来電話での注文や問い合わせが殺到しており、村の玉松の名前を使った、玉松三色だんごを初めとする和菓子が人気を呼んでおります。
これからも、村を宣伝出来るような和菓子造りをして行きたいと意欲十分な伊豫部良次さんは今日も笑顔で頑張る。

玉松三色だんごはおすめの品!
今回は、昨年暮れに和菓子屋として再オープンして、玉松三色だんごや玉松饅頭等の豊富な種類の和菓子造りに頑張っている福々堂いよべ菓子店長の伊豫部良次(瀬辺地)さんに取材しました。
伊豫部さんは、中学卒業と

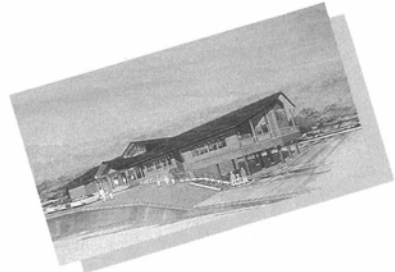
同時に、昭和三十九年〜四十九年の十一年間、東京の新宿中村屋にて、和菓子造りの技術を習得して故郷蓬田へ帰って来ました。
現在、自店にて販売している三色だんごは、特製の牛皮餅で小倉あん、白あん、漉しあんを包み込み、黒胡麻、氷



談話室

● 4月行事予定

日	1	2	4	6	7	8	8	13	20	27	27
行事	蓬田保育所入所式	乳児健診(中央公民館)	村消防団春季火防演習	書道教室(中央公民館)	蓬田小・中学校入学式	蓬田幼稚園入園式	ポリオ生ワクチン1回目(蓬田診療所)	書道教室(中央公民館)	書道教室(中央公民館)	書道教室(中央公民館)	春の大掃除検査(中沢・高根)
担当	保育所	民生課	総務課	中央公民館	小・中学校	幼稚園	民生課	中央公民館	中央公民館	中央公民館	民生課



南郡浪岡町の県民の森梵珠山に、『県立自然ふれあいセンター』が平成4年7月オープン予定です。
このセンターは、約千平方メートルの木造平屋建てで、梵珠山の動植物をパネルや模型でやさしく解説した「展示ホール」、ビデオ・レーザーデスクなどの映像音響機器を備えた「レクチャールーム」、巣箱作りなどの簡単な木工ができる「工作室」等を備えた施設になるそうです。
子供から大人まで年間を通して利用できます。

みく
つけた
50

けっばる蓬田人 ④③

ふるさとを愛する暮らし

(株)NECライベックス

森 柁代志さん



ふるさと蓬田村の皆さん筑波嶺の里から今日は。

ここ茨城県はこれと言った名所旧跡等はないが、水戸の皆楽園、ガマの油でお馴染の筑波山があります。

また、昭和六十年に科学万博が開催された所でもある。最近なにかとふるさとを思出す日が多くなった。

藁靴をはき小学校に通った頃のこと、学校をさぼって遊んだ海や山、友達のこと。

コゲ飯に味噌を付けた握飯や、ヒノキのワッパ飯に川の水をかけて食べた時の旨かったこと等、忘れられない思い出がいっぱいです。

二、三年東京へ遊びに行ってくるよと軽い気持ちで上京したのが、昭和三十六年秋、それがなんといつの間にか三十年も過ぎてしまった。

上京し日本電気(NEC)に臨時工として入社、三十八年に社員として採用される。

NECは通信機器全般の製造メーカーで、NECで働くには電気知識がなければ務まりません。

そこで翌三十七年四月から専門学校電気科夜間部に二年間通学勉強することにした。会社では電話交換機の製造に従事し、検査を担当した。

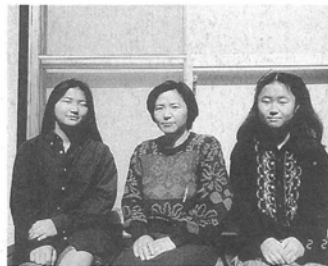
製品は国内及び海外に輸出し客先に納入され、現地にて設置工事が行われる。

設置工事はベテランが従事するが、私もおかげ様で設置工事が出来るようになり、国内はもちろん海外にも出張出

来るようになった。

海外出張では、同級生が唯一人ブラジルに移住している親友に逢う事が出来て本当に嬉しかった。

私ももうすぐ定年、定年ま



めも

▶現住所/茨城県北相馬郡利根町大字布川253-244 ☎0297(68)7341 ▶生年月日/昭和13年4月30日 ▶出身/阿弥陀川/森春雄氏弟 ▶妻・サチ子・長女・雅乃・次女・寛乃 ▶好きなもの/旅・写真 ▶経歴/青森県立青森工業高等学校卒(昭和33年3月)/日本電気㈱入社(昭和36年11月)/㈱NECライベックス出向~現在に至る。

編集後記

村民の皆様のご協力によりけっばる蓬田人も43人の方の登場となりました。これからも沢山の方に登場していただきたいと思えますので、友人・知人・親戚の方のご紹介をお待ちしております。

戸籍の窓



人口と世帯数 (2月29日現在)

総人口 4,091人
男 1,960人
女 2,131人
世帯数 1,050世帯

2月受付分

お誕生おめでとうございます

三上 元隆 (範 夫 2 男)
久美子
坂本 駿 (行 生 2 男)
ゆみ子

ご結婚おめでとうございます

(柿 崎 悟 (広 瀬)
八十橋 美 香 (青森市)

おくやみ申し上げます

田中 ヨシ (瀬辺地 84歳)
船水 公德 (瀬辺地 77歳)